

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 波田まちづくり協議会

1 交付決定額	I	金 800,000円
---------	---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 地域福祉・健康づくり推進事業	
実 施 主 体	絆づくり推進会議、波田まちづくり協議会
実施日（期間）	令和7年8月～令和8年3月
実 施 場 所	地区内一円
事 業 概 要	1 まちづくりモデル町会推進事業への支援 (1) 実施町会 13区・14区（合同）、19区 (2) 実施内容 ア 「いきひやく青葉の会」を結成し、高齢者が最後まで自分のことができるように「百歳体操」による筋力アップを目指す。また茶話会を同時開催し、地域住民の交流から支え合える地域づくりを目指す。（13区・14区） イ 町会活動にラインワークスを活用し、日程調整や回覧板等の周知、会議や行事について町内に効率的に共有（19区） ウ 各活動の事例発表 (3) 支援内容 講師謝礼及び消耗品代等の負担 2 地域づくり講演会への支援 (1) 第1回 地域づくり講演会 ア 日時 令和7年9月27日（土）午後2時～3時30分 イ 場所 波田公民館大会議室 ウ テーマ 人生100年時代の健康心理学 ー老いをちょっぴり楽しむための、心の健康の秘訣ー エ 講師 齊藤 茂氏（松本大学准教授 人間健康学部スポーツ健康学科長） (2) 第2回地域づくり講演会 ア 日時 令和8年2月22日（日）午後2時～4時30分 イ 場所 波田公民館大会議室 ウ 内容 (ア) モデル町会事業発表（12区、13区・14区、19区） (イ) 基調講演「多様性を考えるー自分で切り拓く力ー」 講師 三澤 拓氏（パラアルペンスキー元日本代表） (3) 支援内容 講師謝礼及び広報用チラシ代等を負担

	3 地域資源冊子「波田暮らしのささえあい情報」改訂版の作成、配布 内容を検証、新たな情報を追加し、令和8年3月改訂版として全戸配布			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	町会内での取組み支援を継続して推進することにより、地域包括ケアシステムの仕組みづくりが促進された。			
課 題	地区(町会)の実情等に応じた学ぶ機会の提供、関係機関とより一層の連携・交流の推進、ボランティアの育成・支援等			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	473,197円	350,000円	0円	123,197円

② 事業名： 波田地区地域連携事業	
実 施 主 体	波田地区まちづくり協議会他
実施日（期間）	令和7年5月～令和8年3月
実 施 場 所	地区内一円
事 業 概 要	1 万葉植物園草刈りボランティア作業 (1) 内容 松本市立病院南西側の万葉植物園について、協議会会員によるボランティアで草刈り作業を実施 (2) 時期 6月28日（土）、8月23日（土） (3) 経費 草刈り用チップソー、燃料、参加者飲み物 2 上海渡カタクリ群生地草刈りボランティア作業 (1) 内容 波田上海渡地籍に群生するカタクリ園について、協議会会員によるボランティアで草刈り作業を行うもの (2) 時期 11月1日（土） (3) 経費 草刈り用チップソー、燃料、参加者飲み物 3 特定外来植物「オオハンゴンソウ」駆除作業 (1) 内容 波田水沢地籍に生息する特定外来植物のオオハンゴンソウを、協議会会員によるボランティアで駆除作業を行うもの (2) 時期 6月7日（土） (3) 経費 参加者飲み物 4 緑化推進への協力 (1) 実施主体 波田花のある会 (2) 実施時期 5月24日（土）～11月7日（金） (3) 協力内容 ・三溝フラワーゾーンにおける協議会区画の植栽管理 ・実施主体への消耗品経費の補助 5 小学生プランター設置活動への協力 (1) 実施主体 波田小学校児童会 (2) 実施時期 6月～11月 (3) 協力内容 波田小学校児童会が植栽したプランターを、波田地区内の公共施設等へ設置する活動に対して、消耗品経費等の補助 6 地域文化伝承・保護活動への協力 (1) 内容 波田地区の文化を継承することを目的に、若澤寺史跡の現地見学会を開催 (2) 時期 7月26日（土）

	(3) 経費 講師謝礼			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	1 地区内の各種団体と連携し事業活動を活発に行うことで、地域住民の地域づくりへの参加と主体性を促すことができた。 2 イベントへの参加、支援を行うことで、地域づくりへの意識高揚が図られるとともに、協議会運営に主体性が生まれ、自らが住んでいる地区を良くしようとする心が育むことができた。			
課 題	1 住民や各種団体と連携し、地域課題に対し協働して解決しながら、「生き生きと輝くまち」の実現を目指していくことが課題である。 2 地域の魅力や財産を継続するため、次に続く人材が必要不可欠であり、担い手育成の事業に力を入れる必要がある。また、若い方が各種事業に参加する仕組みを検討する必要がある。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	307,189円	220,000円	0円	87,189円

③ 事業名： 防犯・防災の地域づくり事業				
実 施 主 体	波田まちづくり協議会			
実施日（期間）	令和7年5月～令和8年3月			
実 施 場 所	地区内一円			
事 業 概 要	1 防災研修会の開催 (1) 開催内容 普通救命講習の実施 (2) 開催日 8月2日（土） (3) 経費 講師謝礼及び啓蒙グッズ購入費 2 あいさつ運動への協力 (1) 実施主体 波田中学校生徒会 (2) 実施時期 5月～1月のうち、各月2日間 (3) 協力内容 中学校生徒会とともに登校する小学生ほか道行く方々への声掛け（あいさつ）の実施			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	研修会の開催や住民への声掛けを通じて、防犯・防災意識の高揚を図るとともに、地区の一体感を醸成した。			
課 題	住民や各種団体と連携し、地域課題に対し協働して解決しながら、「生き生きと輝くまち」の実現を目指していくことが課題である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	25,465円	20,000円	0円	5,465円

④ 事業名： まちづくり協議会情報発信事業				
実 施 主 体	波田まちづくり協議会			
実施日（期間）	令和7年4月～令和8年3月			
実 施 場 所	地区内一円			
事 業 概 要	1 まちづくり協議会ホームページの運営 (1) 既存掲載情報の修正及び更新			

	(2) サイト充実化に向けた内容の見直し 随時、地区内団体・サークル、飲食店を追加し充実を図る 2 まちづくり通信の発行 月1回（年12回）発行し、全戸に配布した。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	まちづくり協議会の活動紹介、地域イベント等を周知するツールとして活用し、住民のまちづくりに対する関心を高めた。			
課 題	まちづくり協議会ホームページについて、地域住民の認知度を高める必要がある。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	281,303円	210,000円	0円	71,303円

決 算 額（ 計 ） (①+②+③+④)	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	1,087,154円	800,000円	円	287,154円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考]繰越上限額=I×2/10